

教第21号議案

学習用パソコンの活用状況について

学習用パソコンの活用状況について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和5年11月7日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 高田 純

学習用パソコンの活用状況について

教科指導課

1. 総合教育会議時点での報告と方向性

- (1) 現 状：学習用パソコンを週3回以上活用していると回答した児童生徒の割合
(小：市 45.7%／全国 62.4% 中：市 44.3%／全国 61.1%)
- (2) 課 題：「学校間の格差」「教員の授業・指導に対する意識」「家庭での活用」
- (3) 方向性 ①PT を設置：課題の原因分析と対応策の検討
②活用率の低い学校への個別指導
③全校長に向けた訓示・活用事例の研修

2. その後の取り組み（終了または現在進行中）

- (1) 事務局と校長会の代表校長からなる PT を立ち上げ、今後の対応などを協議
 - ・第1回（8月1日） 課題共有、取組案検討
 - ・第2回（10月24日） 今後の取組について協議、関係各課に協力依頼
- (2) 校長・GIGA 担当者研修会（8月25・29日）
 - ・教育長訓示、情報活用能力育成の意義の共有
 - ・市全体や学校毎の活用状況一覧の提示 ・小中各1校からの実践発表
 - ・授業における活用方法の事例紹介
 - ・活用率が全国平均値以下の学校に対し、活用率70%以上を目指した改善計画作成を指示
- (3) 統括官・地区統括官及び教科指導課指導主事による学校訪問指導
(対象校 199校/249校 11/2 現在 189校訪問済み)
 - ・各校の活用状況について、校長・GIGA 推進担当者にヒアリング
 - ・授業参観時に管理職に対して具体的なアドバイス
 - ※活用例：従来の紙の代替として電子版のノートを活用
PowerPoint 等を活用しての資料作成、意見の共有
- (4) 「管理職向けアプリ・ツール活用基礎研修会」の開催（計9回）と「助言事例」の作成
 - ・学習用パソコンを活用した授業について、管理職が教員にアドバイスするための基礎研修
 - *研修内容については別紙

3. 現時点における課題

- ・効果的な活用実践例の更なる周知
- ・児童生徒の学習用パソコンの不適切使用への対応
- ・情報活用能力を測る指標・評価規準（目標設定）

別紙

授業で活用できるアプリ・ツールの基礎演習（管理職研修）内容一覧

下記の内容についての演習研修

KOBEX	
	KOBEX にアクセスする
	必要なデータを検索してたどり着くことができる
SKYMENU Cloud	
	まなびポケットにログインする（初回は学校コードが必要）
	授業を開始する
	発表ノートを作成し、子供たちに配布する
	画面一覧で進捗状況を確認する
	提出箱を作成し、子供たちの発表ノートを回収する
	子供同士で発表ノートを読覧できるようにする
Microsoft Teams	
	チームを作成する
	チームに参加する（チームコード）
	チームに招待する（チームコード、招待）
	チャンネルを作成する
	投稿する（文章を入力）
	投稿する（ファイルやカメラで撮った写真を添付）
	ファイルに資料などをアップロードする
	ファイルから資料などを開く、ダウンロードする
	課題を作成する
	共同編集する（Excel、PowerPoint など）
Microsoft Forms	
	アンケートや授業の振り返りを作成する（選択肢、記述式）
	回答を収集する（URL、二次元コード）
	結果を Excel で出力する